

学校法人中西学園 一般事業主行動計画
(次世代法・女性活躍推進法一体型)

教職員が仕事と子育てを両立させることができ、働きやすい環境をつくること、取り分け、女性の活躍できる環境整備とその能力を十分に発揮できるようにするため、次の行動計画を策定する。

1. 計画期間：2021年4月1日から2026年3月31日までの5年間

2. 内容

目標1：管理職に占める女性教職員比率を全体で30%以上にする。

<課題>

- ・女性教職員の在職率 60.3%に対し、管理職 23.1%の割合が少ない。
(2020年度)

<対策>

2021年4月～

- ・女性管理職の少ない部署について、ヒアリング等を実施し、課題を把握した上で、所属長との面談を通して、改善策について検討していく。
- ・管理職を目指す教職員に対してマネジメント能力が身につくよう研修を実施する。

目標2：男女の平均勤続年数の差を1年未満にする。

<課題>

- ・男性教職員が15.7年に対し、女性教職員が13.9年と平均勤続年数に差がある。(2020年度)

<対策>

2021年4月～

- ・女性の勤続年数が男性教職員に比べて短い傾向は続いており、この原因について、調査・検討する。
- ・多くの女性教職員が継続勤務しやすい環境を整備するための措置として、仕事と育児・介護の両立が考えられる。各休暇制度の他、復職後の就労安定を図るため、短時間勤務や在宅勤務等関連する制度の周知とともに担当窓口を明確にし、きめ細かい対応を実施していく。

目標 3：年次有給休暇の取得率を向上させる。

<課題>

- ・働き方改革での年次有給休暇の取得の義務化により、取得率が向上したがより取得率を上げていきたい。

<対策>

2021年4月～

- ・勤怠システムを活用し、定期的を取得状況を調査し、取得率向上のための措置を講ずる。
- ・取得率が低い部門については、ヒアリングを実施し、改善を促す。
- ・業務の影響を考慮し、計画的に年次有給休暇を取得するよう指導していく。
- ・管理職が率先して教職員の意識を変え、取得しやすい雰囲気づくりを実践する。
- ・半日単位の年次有給休暇以外にもより取得しやすい制度の見直しを検討する。

情報公開

【在職中の男性・女性教職員の割合(2020年3月現在)】

	男性	女性
教員	43.2%	56.8%
職員	32.5%	67.5%

【採用した男性・女性教職員の割合(2020年度)】

	男性	女性
教員	26.9%	73.1%
職員	11.8%	88.2%

【一月当たりの平均残業時間(2020年度)】

	男性	女性
教員	18.3時間	11.4時間
職員	24.3時間	8.3時間